

教員名 (Name) : 松本 曜

---

\*ゼミタイトル Seminar Title 単語の意味：多義語を中心に

\*授業概要 Outline of the contents

単語などの言語の表現は、複数の意味を持つ場合が多い。たとえば、hand は人間の〈手〉を表すだけでなく、〈～の側〉〈時計の針〉〈働く人〉などの意味がある。これは、〈手〉という中心的意味から意味が派生した結果、一つの語が複数の意味を持ったということである。そのような語を多義語という。このゼミでは、多義語に見られる意味の派生について、それがどのようにして起こるのかを考察していく。認知意味論と呼ばれる考え方に従って、メタファーやメトニミーと呼ばれる現象について取り上げる。そのほか、類似した意味を持つ類義語なども考察する。その上で、各自が特定の単語（動詞、前置詞など）を選び、その単語の複数の意味がどのような関係にあるか、また他の語とどのように意味が違うかを考察する。

\*授業の形式 How the class is conducted

テキストの本（日本語で書かれたもの）を通して、認知意味論と呼ばれる意味研究の考え方を学んでいく。セクションごとに担当者にその内容を発表してもらうとともに、全員で特定の課題に取り組んでもらうことで理解を深める。また、各自が関心を持つ、特定の単語や単語群を取り上げ、文献から学んだことや、辞書の比較を行って発表してもらい、まとめてレポートを提出する。主に英語の単語を扱うが別の言語でも良い。一期に二回の発表をしてもらう。

\*課題・成績評価基準 Requirements and Assessment

毎回の授業への積極的な参加、教科書に関する発表内容、および教科書と関連する課題(40%)。また、期末に提出してもらうレポート(60%)。

\*その他 Others